

2022年12月期（66期） 第2四半期 決算説明会

ピジョン株式会社

（証券コード：7956）

代表取締役社長 北澤憲政

2022年8月9日

Celebrate babies the way they are



2022年12月期（66期） 第2四半期

第2四半期 ハイライト

P. 2 - 6

第2四半期 業績報告

P. 7 - 14

通期業績見通し

P. 15 - 18

Agenda

22年12月期 第2四半期 ハイライト

中国本土におけるCovid-19の状況 上海ロックダウンの発生

- 4月1日から2ヵ月間続いた上海ロックダウンにより、当社の事業活動は大きな影響を受けた
- 4月末より、上海工場（哺乳器・スキンケアを製造）では様々な施策を講じ、2ヵ月間を通じて社員約200名が工場に泊まり込みでロックダウン期間中の生産・出荷業務を支えた
- 6月1日に上海ロックダウンは解除され、6月2日より上海工場はほぼ全社員が出社、6月2週目には通常稼働へ回復
- 当社の製造・出荷機能はロックダウン解除後すぐに通常通りに回復した。上海周辺では6月末まで物流混乱が続いたが、618商戦に向けて可能な限りの準備を行った

上海ロックダウン（4月1日～5月31日）			
	5月		6月
物流全般	- 上海発着の流通は引き続き制限が続く - 当社代理店やEC小売の上海倉庫が閉鎖。オフライン店舗は一時閉店 - 当社代理店やEC小売の地方倉庫では欠品が発生	ロックダウン解除	ロックダウン解除後も、上海周辺では配達遅延や物流費高騰などの物流混乱の影響が6月末まで続いた
販社（上海） 工場（上海）	制限のある中でも、徐々に生産、出荷やその他活動を再開		6月1日のロックダウン解除以降、上海工場はほぼ全社員が出社生産・出荷やその他の事業活動は通常通りに回復
工場（常州）	通常稼働		通常稼働

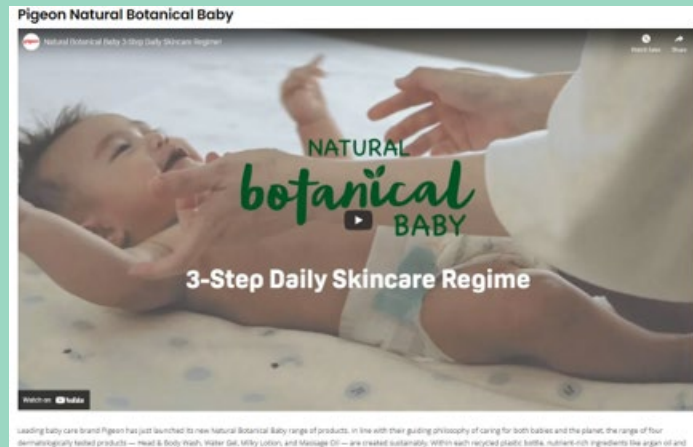
中国本土における5月以前のCovid-19の状況については、Appendixを参照

中国 6 1 8 商戦

- ゼロコロナ政策の影響により、物流網の混乱や消費マインド低下の懸念など、例年とは異なる環境での6 1 8 商戦となった
- イベント期間中の当社商品の流通取引総額（GMV）は前年比11%の伸長
- 京東のママ・ベビー用品で第1位。商品カテゴリ別ランキングでは哺乳用品とスキンケアで第1位を獲得



Natural Botanical 展開市場を拡大



- コンセプト（自然由来、環境対応商品）やイメージは小売店やお客様から好評
- 中東やインドネシアなど販売好調。4月からはインドでも販売を開始し、現在は15か国以上で展開
- オフラインとデジタルの両面でマーケティングを強化、お客様のリピート購買を増やしていく

ESG・サステナビリティ

- 林野庁「森林×脱炭素チャレンジ2022」優秀賞（林野庁長官賞）を受賞
- 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

当社はこれからも、事業活動を行うすべての国・地域において環境負荷を減らし、赤ちゃんとお母さんを取り巻く社会課題の解決をすることで、企業として持続的な成長を目指します。

22年12月期 第2四半期 業績報告

22/12期 第2四半期 連結P/L

売上、利益のドライバーである中国における上海ロックダウンの影響が大きく、連結では減収減益

(単位：百万円)	21/12期 第2四半期		22/12期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	47,277	100.0%	45,292	100.0%	95.8%
売上原価	24,719	52.3%	24,543	54.2%	99.3%
売上総利益	22,558	47.7%	20,749	45.8%	92.0%
販管費	14,969	31.7%	15,631	34.5%	104.4%
営業利益	7,589	16.1%	5,118	11.3%	67.4%
経常利益	8,536	18.1%	6,404	14.1%	75.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,085	10.8%	3,990	8.8%	78.5%

【参考：平均レート】 22/12月期 (66期)実績：1ドル123.15円 1元18.97円
21/12月期 (65期)実績：1ドル107.76円 1元16.65円

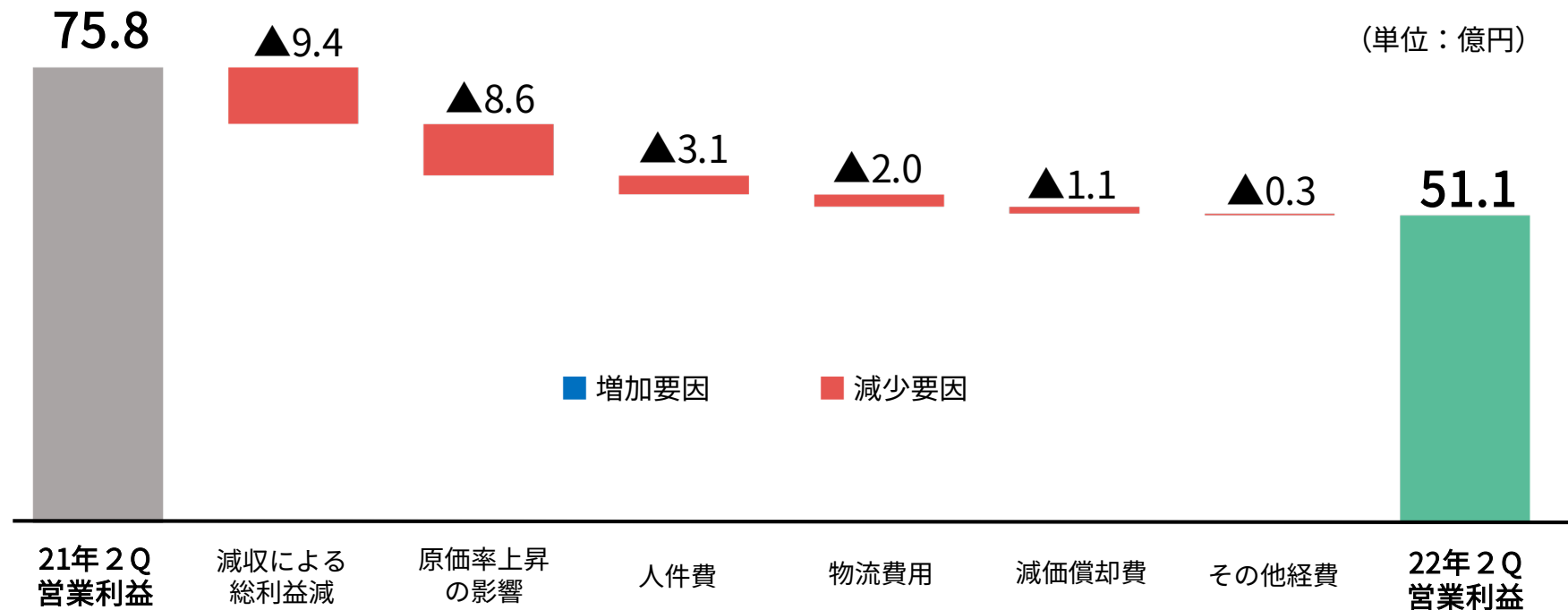
22/12期 第2四半期 事業別損益

シンガポール事業およびランシノ事業の売上高は前期比2ケタ伸長。中国と日本は売上高、利益ともに前期割れ

(単位：百万円)	21/12期 第2四半期				22/12期 第2四半期				
	売上高	構成比	総利益率	セグメント利益	売上高	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
連結計上額	47,277	100.0%	47.7%	7,589	45,292	100.0%	95.8%	45.8%	5,118
日本事業	19,888	42.1%	34.4%	1,172	17,904	39.5%	90.0%	32.6%	592
中国事業	19,440	41.1%	52.0%	6,766	16,238	35.9%	83.5%	49.3%	4,609
シンガポール事業	6,024	12.7%	36.9%	807	6,924	15.3%	114.9%	40.6%	1,210
ランシノ事業	6,231	13.2%	55.1%	522	7,814	17.2%	125.4%	51.5%	252
セグメント間取引消去	▲ 4,306	▲ 9.1%	—	—	▲ 3,588	▲ 7.9%	—	—	—

22/12期 第2四半期 連結営業利益 前期比増減要因

- 上海ロックダウンによる中国の減収、および工場稼働の大幅低下による原価率上昇などが連結営業利益にも大きく影響
- 販管費は主に人件費（中国事業およびランシノ事業。為替影響も含む）や物流費（国際的な物流混乱による高騰）が増加



22/12期 第2四半期 連結貸借対照表（ハイライト）

(単位：百万円)	21/12期 期末	22/12期 第2四半期			
	実績	実績	前期末差	前期末比	試算：前期末差 (為替影響除外)
現金及び預金	35,218	35,557	+339	101.0%	▲1,755
受取手形及び売掛金	16,253	17,916	+1,663	110.2%	+133
たな卸資産	12,706	14,558	+1,851	114.6%	+473
支払手形及び買掛金	4,087	5,783	+1,696	141.5%	+1,317
電子記録債務	1,623	1,729	+105	106.5%	+105
借入金	—	—	—	—	—
純資産	76,810	81,875	+5,064	106.6%	+2,333
総資産	98,042	104,274	+6,231	106.4%	▲1,039
自己資本比率	75.4%	75.3%	—	—	—

日本 事業

ベビーケアは前期割れで終了。哺乳器は好調継続も、消耗品は苦戦が続く

- ・ベビーケアの売上高は前期比▲4.4%。国内主要チャネルは前年並みも、海外需要（越境ECなど）の落ち込みが影響
- ・哺乳器の売上高は新モデルの貢献が継続し前期比+26%。スキンケアは「ももの葉シリーズ」の低調が期初から継続
- ・ウェットティッシュや母乳パッド等の消耗品は、消費者の低価格商品への需要の高まりなどもあり苦戦が続く
- ・ベビーケアの総利益率は▲4.5ptの悪化。円安や原材料価格の値上げによる調達コスト増加などによるもの
- ・ヘルスケア・介護は製品ポートフォリオ見直しにより売上高は▲5億円も、利益率は改善傾向

中国 事業

上海ロックダウンの影響大も、中国本土の売上高は前期比3割減で踏みとどまる

- ・本土の売上高は前期比▲30%。2ヵ月に渡る上海ロックダウンの影響を受け、主力の哺乳器やスキンケアの売上高は前期比で2-3割減で終了
- ・セルアウトは前期比▲10%。ECは同▲7%、オフライン同▲17%。上海ロックダウンによる物流混乱で欠品も多く発生。一方でTiktokなど注力ECチャネルは前年比で大幅伸長。EC比率は68%
- ・哺乳器はロックダウンによる供給不足もあり市場シェアは微減も、トップシェアは維持
- ・総利益率は▲2.6pt悪化。上海ロックダウンによる主力工場（哺乳器・スキンケアを製造）の稼働低下によるもの
- ・618商戦期間中の当社の流通取引総額は前年比11%の伸長。京東のママ・ベビー用品で第1位を獲得
- ・新商品は哺乳器のディズニーデザインや、ハーブを使ったハーバルスキンケアシリーズなどを上市

※売上高：現地通貨ベースでのセルイン

シンガポール事業

主要国の販売は引き続き好調。哺乳器・スキンケアを中心に外部売り伸長継続

- ・インド国内の売上高は前期比+54%、マレーシア同+28%、インドネシア同+29%と主要国の販売は好調
- ・輸出市場では中東、ベトナムが前期比で伸長
- ・基幹商品（哺乳器、さく乳器、スキンケア、口腔ケア）の売上（日本円）は前期比2ケタ伸長と好調
- ・新スキンケアシリーズ（Natural Botanical）の出荷は計画以上の進捗。シンガポール、マレーシア、インドネシア、インド、ベトナム、中東や輸出市場へ展開を拡大
- ・総利益は、販社の増収や工場の商品ミックス改善、為替影響等により前期比+26%の増益。総利益率も+3.8pt改善

ランシノ事業

販売は好調も、物流混乱による供給目詰まりや輸送費高騰が継続し利益減

- ・ランシノグループの売上高は前期比+10%。北米の売上高は前期比+14%。オンライン・オフライン共に好調継続
- ・欧州はベネルクスが好調。UKとドイツは需要増も、一部欠品が発生し前期比微減
- ・主力商品の乳首クリームやさく乳器は好調維持。「産前・産後ケア」商品は輸出含め25か国へ展開を拡大し、ほぼ計画通りの進捗
- ・総利益率は▲3.5pt。物流混乱による調達物流費（原価要因）の高騰が想定以上に悪化し、利益を押し下げ。また、米国内の販売物流費（販管費要因）の高騰も営業利益率低下に影響。物流費高騰の影響を除けば計画通りの進捗

22/12期 主な新商品

シンガポール事業

- 世界初の新プラスチック素材「T-Ester」^{ティーエスター}の哺乳器を発売。従来のプラスチックにはないガラスのような透明感により、調乳時や洗浄時の目視の確認がしやすく、使い勝手が向上（5月）
- 母乳実感の新モデルを東南アジア各国で販売開始（8月）

日本事業

- ピジョン初となる赤ちゃん向けの防災用品シリーズ『sonaetta』^{ソナエッタ}の販売開始（8月）
- 助産師経験のある社員のアイディアから生まれた病産院向け初乳採取サポートデバイス「Precious Drop」^{プレシャス ドロップ}の販売開始（8月）



災害用授乳カップ

消毒済みができない災害時に、
多く乳した母乳やミルクを入れてお使いください。



頭をまもる
ブランケット



新生児から使える
抗菌・抗ウイルス機能付き
コンパクトベッド

いつでもどこでも赤ちゃんの居場所が作れます。
通気性など万病を予防する人々の信頼を得、安心して快適に眠ることができる軽量のコンパクトベッドです。



2022年12月期 通期
業績見通し

22/12期 通期業績見通しの修正

- 上期業績を踏まえ、通期の連結業績予想を下方修正する
- 減収減益要因：上海ロックダウン、日本市場の回復遅れ、国際的な物流混乱による輸送費高騰や原材料価格の高騰リスク等

(単位：百万円)	22/12期 経営計画 (前回発表予想)		22/12期 経営計画 (今回修正予想)			
	期初計画	構成比	修正予想	構成比	増減額	増減率 (%)
売上高	98,700	100.0%	95,000	100.0%	▲ 3,700	▲ 3.7%
売上原価	50,600	51.3%	50,700	53.4%	+ 100	0.2%
売上総利益	48,100	48.7%	44,300	46.6%	▲ 3,800	▲ 7.9%
販管費	33,900	34.3%	32,300	34.0%	▲ 1,600	▲ 4.7%
営業利益	14,200	14.4%	12,000	12.6%	▲ 2,200	▲ 15.5%
経常利益	14,300	14.5%	13,000	13.7%	▲ 1,300	▲ 9.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,500	9.6%	8,550	9.0%	▲950	▲ 10.0%

参考：22/12期 連結業績見通し（下期単独）

- 下期単独では前期比で増収増益を目指す
- 下期取り組み：
中国 - 上期供給不足による販売機会ロスからの再構築、日本 - 哺乳器およびスキンケアのマーケティング強化

(単位：百万円)	21/12期 下期		22/12期 下期見通し (今回修正予想)		
	実績	構成比	見込	構成比	前期比
売上高	45,803	100.0%	49,708	100.0%	108.5%
売上原価	24,289	53.0%	26,157	52.6%	107.7%
売上総利益	21,514	47.0%	23,551	47.4%	109.5%
販管費	15,766	34.4%	16,669	33.5%	105.7%
営業利益	5,747	12.5%	6,882	13.8%	119.7%
経常利益	6,112	13.3%	6,596	13.3%	107.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,700	8.1%	4,560	9.2%	123.2%

株主還元・投資関連

【第7次中期経営計画（2020年 - 22年）での株主還元指標】各営業期における前期比増配、連結総還元性向55%程度を目標

配当の状況	20/12期		21/12期		22/12期	
	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (実績)	期末 (実績)	中間 (予定)	期末 (予想)
1株当たり配当金 (円)	36	36	37	37	38	38
配当性向	81.0%		100.9%		106.5% (修正計画 / 期末)	

(単位：百万円)

<参考> 投資関連指標等（連結）	20/12期		21/12期		22/12期	
	中間 (実績)	通期 (実績)	中間 (実績)	通期 (実績)	中間 (実績)	通期 (見込)
設備投資額 (※1)	1,690	4,185	2,013	6,735	2,814	6,600
減価償却費 (※2)	1,968	3,972	1,986	4,161	2,381	4,300
研究開発費 (※3)	1,430	3,115	1,709	3,603	1,802	3,700

※1 有形および無形固定資産（長期前払費用含む）

※2 減価償却費（のれん・リース償却含む）

※3 人件費を含めた研究開発活動にかかる費用の総額

将来見通しに関する注意事項

本資料にはピジョングループの「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたピジョングループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

担当部署・連絡先

ピジョン株式会社 経営戦略本部

経営戦略室

担当：金田・金塚・平塚

03-3661-4204

Celebrate babies the way they are



Appendix

22/12期 第2四半期 決算ハイライト（連結）

(単位：百万円)	21/12期 第2四半期		22/12期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	47,277	100.0%	45,292	100.0%	95.8%
営業利益	7,589	16.1%	5,118	11.3%	67.4%
経常利益	8,536	18.1%	6,404	14.1%	75.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,085	10.8%	3,990	8.8%	78.5%
純資産	75,769	—	81,875	—	108.1%
総資産	97,152	—	104,274	—	107.3%
EPS（円）	42.51	—	33.35	—	78.5%
BPS（円）	633.33	—	684.25	—	108.0%
ROE *	14.2%	—	10.5%	—	—
ROIC *	14.3%	—	9.0%	—	—

※ROE：自己資本純利益率、分母はいずれも期首・期末平均

※ROIC：投下資本利益率（NOPAT/投下資本、税率は30.0%、投下資本は期首・期末平均を使用）

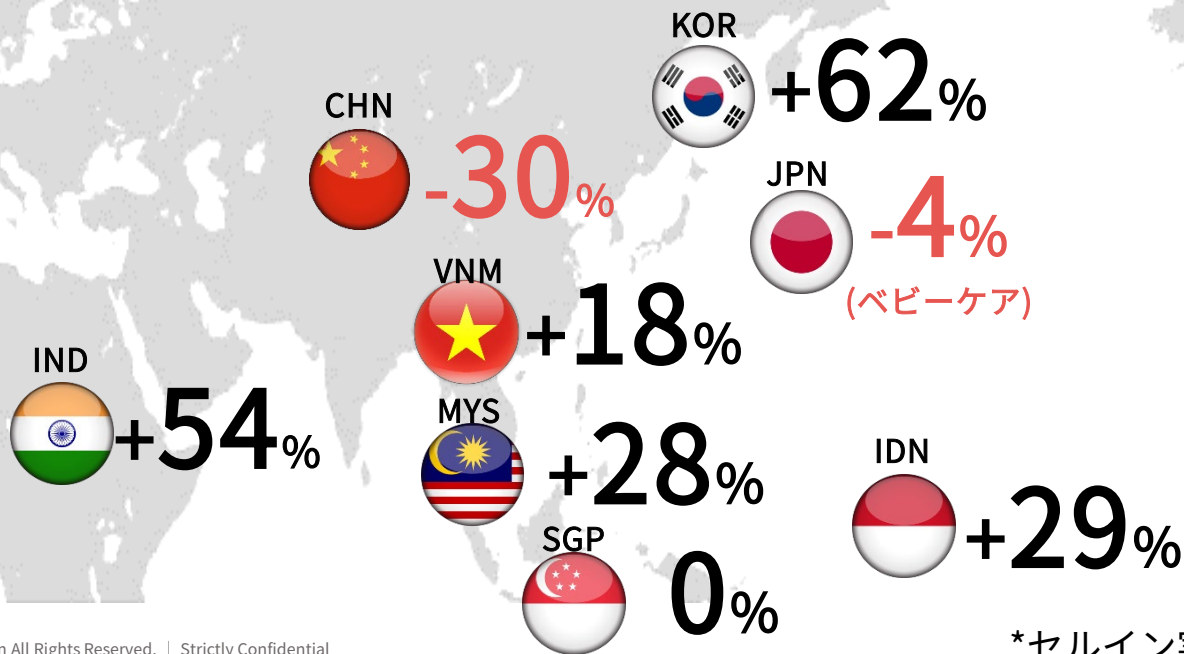
22/12期 第2四半期 日本事業損益内訳

日本事業の主な内訳（従来のセグメント区分との比較のために経営戦略室にて試算）

(単位：百万円)	21/12期 第2四半期				22/12期 第2四半期				
	実績	構成比	総利益率	セグメント利益	実績	構成比	前期比	総利益率	セグメント利益
日本事業	19,888	42.1%	34.4%	1,172	17,904	39.5%	90.0%	32.6%	592
ベビーケア(※)	13,042	—	41.2%	1,224	12,471	—	95.6%	36.7%	717
子育て支援	1,786	—	16.2%	87	1,738	—	97.3%	16.3%	107
ヘルスケア・介護	3,075	—	29.5%	294	2,486	—	80.8%	31.7%	255

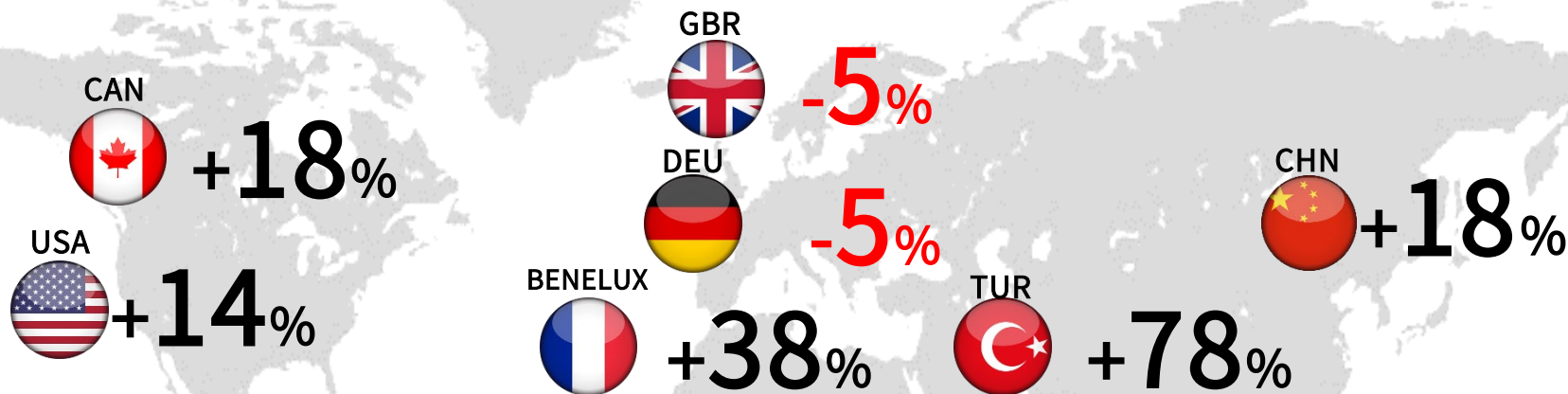
※22/12期より「国内ベビー・ママ」から「ベビーケア」に名称変更しました

ピジョン 地域別売上高* (2Q累計/ 前年同期比)



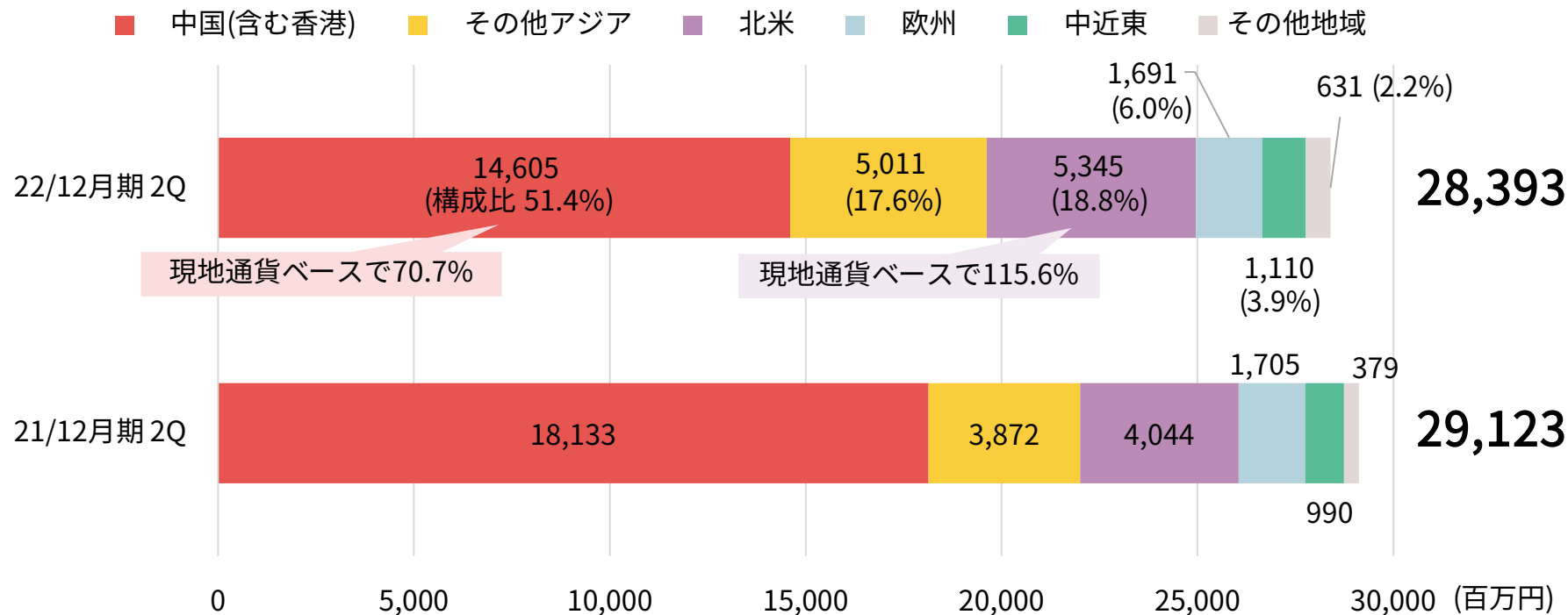
ランシノ 地域別売上高* (2Q累計 / 前年同期比)

Lansinoh®



海外地域別売上高 22/12期（66期）実績

海外売上比率：62.7%（前年同期は61.6%）

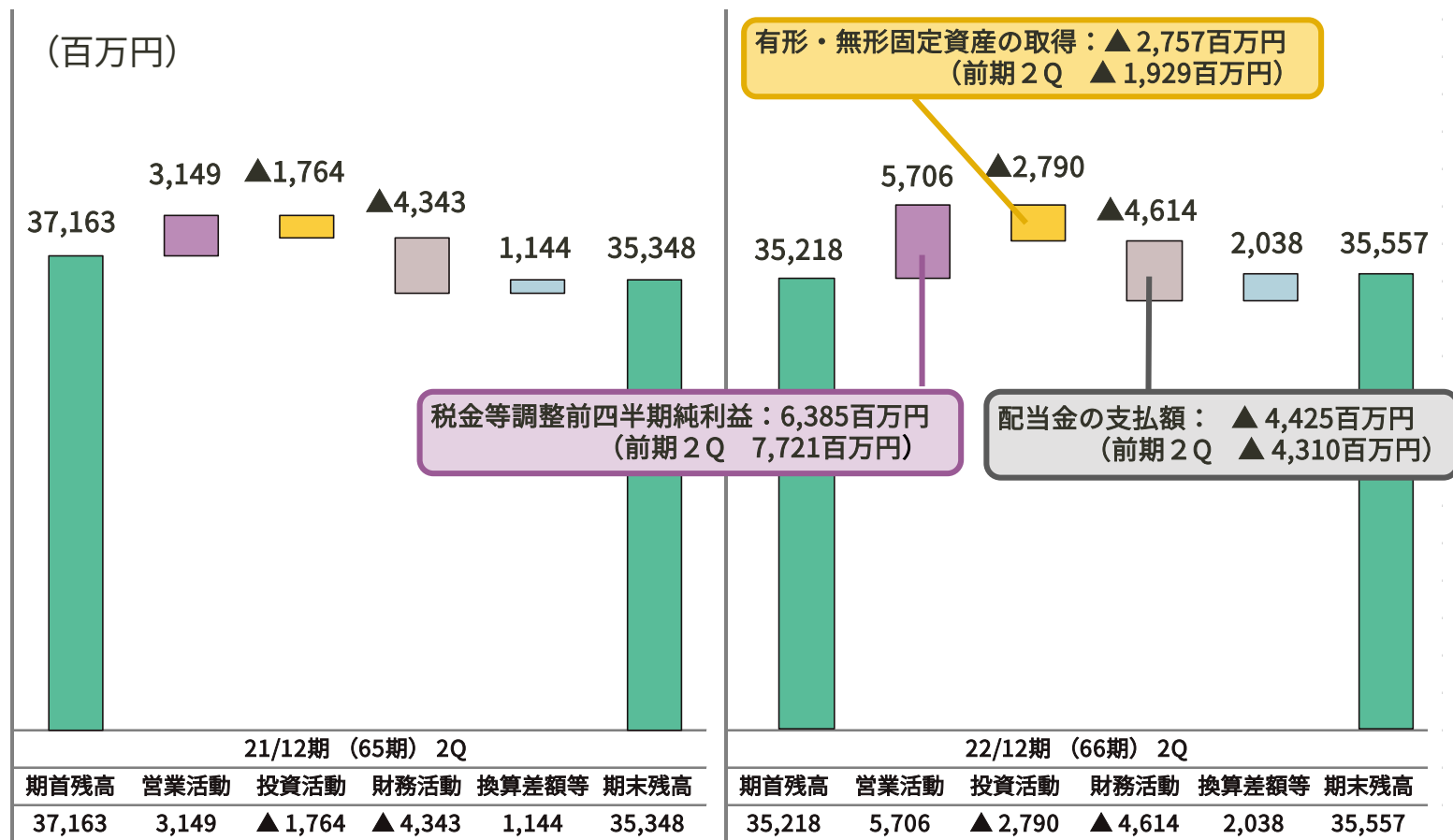


【参考：平均レート】

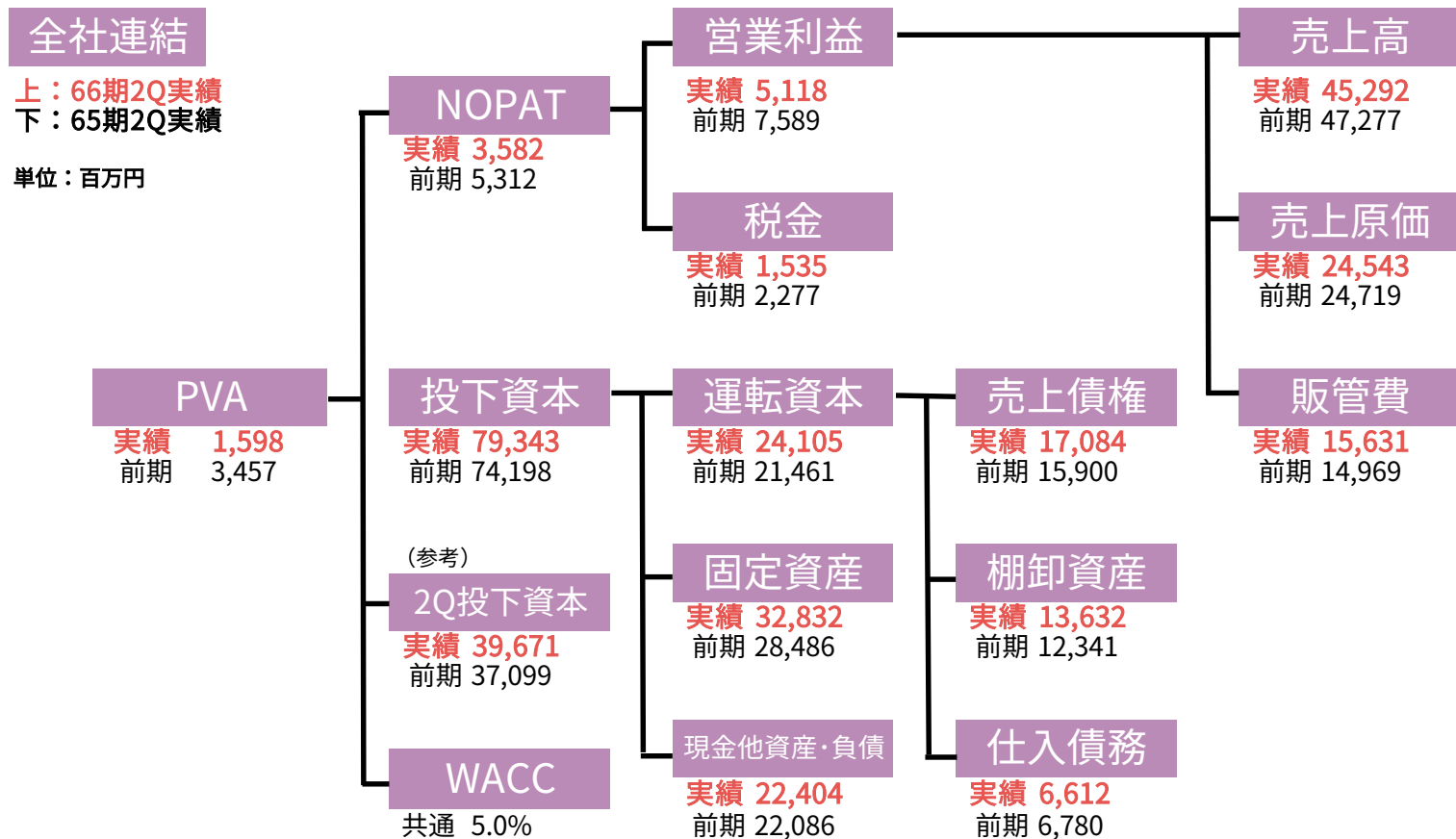
22/12月期 (66期)実績：1ドル123.15円 1元18.97円

21/12月期 (65期)実績：1ドル107.76円 1元16.65円

【参考】連結キャッシュフロー比較



企業価値の向上に向けて：PVAツリー 22/12期（66期） 全社連結



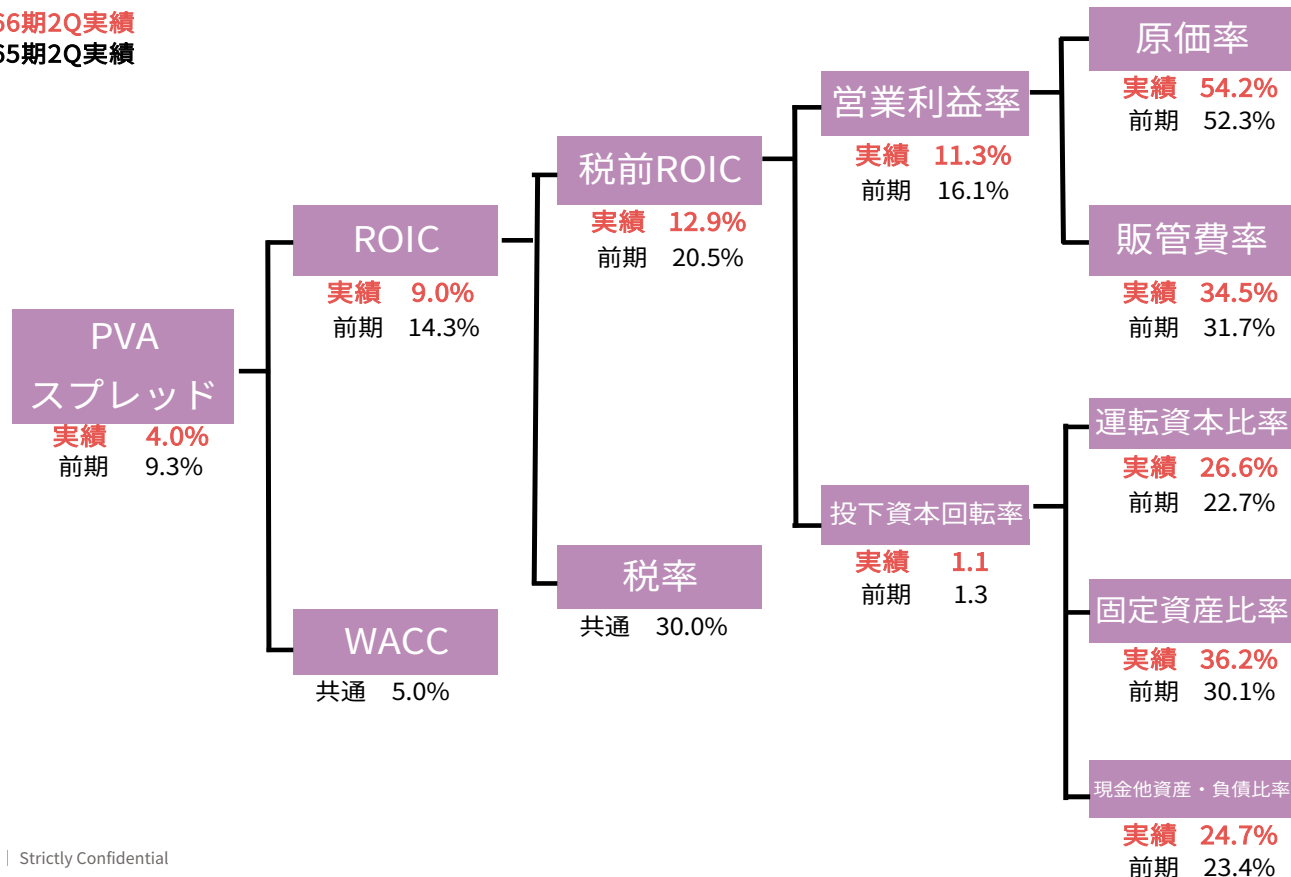
*PVA算出時B/S項目の各数値は期首・期末平均を使用しております。

企業価値の向上に向けて：PVAツリー 22/12期（66期） 全社連結

全社連結

上：66期2Q実績

下：65期2Q実績



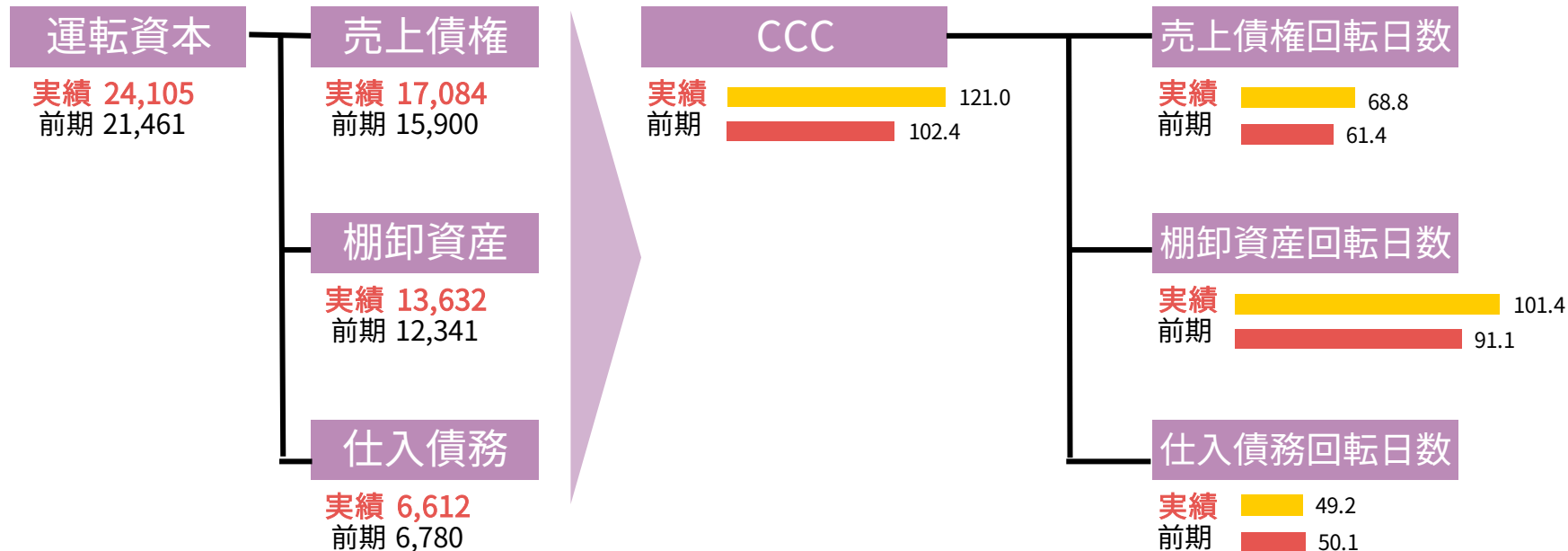
企業価値の向上に向けて：PVAツリー 22/12期（66期） 全社連結

全社連結

上：66期2Q実績

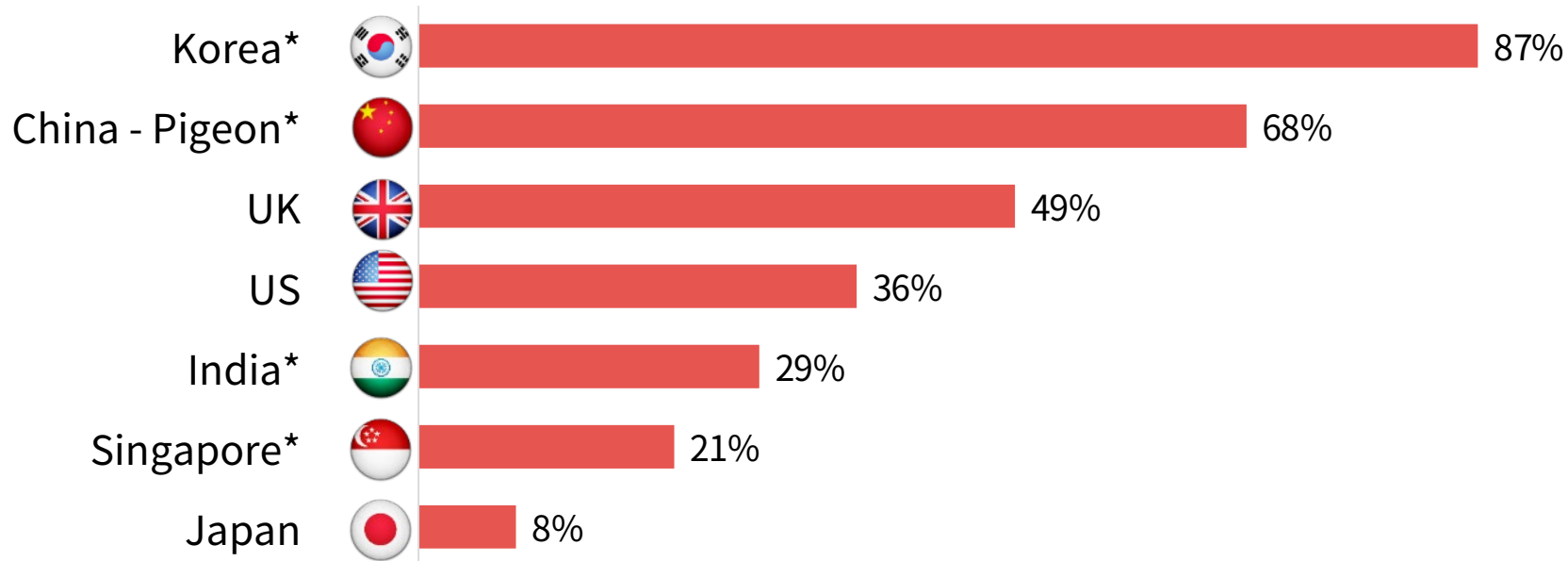
下：65期2Q実績

単位：百万円



主要国のEコマース販売比率 (22/6期)

ピジョン・ランシノ商品のEコマース販売比率



*：セルアウト 無印：セルイン

【参考】1Q決算 補足資料 中国本土におけるCovid-19 1Q業績への影響

- 2月累計までは社内想定に近い業績で進捗していた
- 3月中旬からの局地的なロックダウンの影響により、**当社月売上見込 0 - 15%が出荷できず1Qを終了。**また、当社代理店や各小売（EC・オフライン）からの出荷にも遅延やキャンセルが発生し、セルアウトにも影響

局地的ロックダウン（3月中旬～現在も断続的に発生）

ロックダウンが発生した地域	• 華北エリア、東北エリアなど • 陝西省、福建省、雲南省、天津市などの各地域で14 - 60日の局地的なロックダウンが発生
物流・小売店・消費者への影響	• 当社代理店の重要倉庫が数日間閉鎖され、断続的に出荷遅延が発生 • ロックダウンエリアにある百貨店やチェーンベビーショップの多くが一時閉店 • EC小売は地方倉庫への商品補充ができず配達遅延が発生 • ECの配達遅延により、お客様からの返品やキャンセルが増加
当社中国拠点への影響	
販売会社（上海）	当社代理店の重要倉庫（2か所）が数日間閉鎖され、当社からの出荷が断続的に停止
工場（上海）	• 通常通りの稼働 • 上海ロックダウンに向け在庫積み上げ
工場（常州、江蘇省）	常州市内のロックダウンにより6日間の稼働停止

【参考】1Q決算 補足資料 上海ロックダウンの状況

- ・ 4月以降は上海ロックダウンにより、販社および生産拠点ともに1Q以上に大きな影響を受けている
- ・ 4月末から出荷や生産の一部が再開。4月末時点での当社中国グループの稼働状況は通常時の約20 - 30%程度にとどまる
- ・ 上海ロックダウンは5月現在も継続しており、業績への影響額は現在試算中（6月1日よりロックダウン解除）

上海ロックダウン（3月末から継続中）					
カレンダー	4/1 - 4/10	4/11 - 4/17	4/18 - 4/24	4/25 - 5/1	
局地的ロックダウン	3月中旬から発生している地方の局地的なロックダウンは継続				
物流全般（上海）	上海発の他省への流通が原則停止。当社代理店やEC小売の上海倉庫が閉鎖。オフライン店舗は一時閉店				
物流（上海以外）	上海市内への流通が原則停止。当社代理店やEC小売の地方倉庫では欠品が発生。封鎖地域以外のオフライン店舗は一部営業				
販社（上海）					
	商品出荷	商品出荷はほぼ停止			常州工場を経由するなどして代理店へ一部の商品出荷を再開
	その他業務	原則在宅勤務のため、研究開発や試作などの業務に制限が出る。予定していたマーケティング活動やイベントの一部も延期			
工場（上海）					
	商品生産	稼働停止			一部の稼働再開 （稼働率20%程度）
	商品出荷				
工場（常州）					
	商品生産	通常稼働。常州工場からの出荷は可能だが、出荷先の封鎖状況により予定通り出荷ができず			
	商品出荷				

第7次中期経営計画 テーマ

中国市場での主要成功要因(KSF)をグローバルに展開し、
全地域での健全な成長と収益性のさらなる向上を目指す

ブランド戦略：

「商品を買ってもらおう」から、
「当社のビジネスに共感し、選んでもらおう」ブランド作り

商品戦略：

グローバルで当社の強みを活かせるカテゴリーで、成長を加速させる

地域戦略：

各地域の市場特性に合った「開発・生産・販売」サイクルを構築し、
スピードを持って実行する



The image features two babies lying on a white, wrinkled fabric background. The baby on the left is looking towards the camera with a slight smile. The baby on the right is looking down at their hands, which are near their mouth. In the center, there is a light pink, cloud-like shape containing Japanese text.

存在意義

我々が社会において存在している意味・果たすべき役割

赤ちゃんをいつも真に見つめ続け、
この世界をもっと
赤ちゃんにやさしい場所にします

ピジョングループは、株主、投資家の方々をはじめ、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じ、経済的・社会的価値を最大化する事を目指しています。

当社の最新の経営戦略や事業・ESGについて、ぜひ当社ウェブサイトよりご覧ください。



- 統合報告書

<https://www.pigeon.co.jp/ir/library/factbook/>

- サステナビリティ

<https://www.pigeon.co.jp/sustainability/>

- ESGデータブック

<https://www.pigeon.co.jp/sustainability/databook/>

Celebrate babies the way they are

